


1. 事業説明シート

<p>事業名</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]</p>	<p>事業箇所</p>	<p>山梨市万力</p>	<p>地区名</p>	<p>万力Ⅱの3 (マンリキニノサン)</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>																																							
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 万力Ⅱの3地区は、山梨県北東部の山梨市万力に位置する急傾斜地であり、平成23年3月24日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高33m、平均勾配43度の急傾斜地であり、保全対象には、人家10戸、市道 (避難路) があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全対象：人家 10戸、市道 L=280m ・重要公共施設の有無：有 市地域防災計画で位置づけられた避難路 (市道) 合計10戸>5戸以上※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 —</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <table border="1" data-bbox="1316 520 2416 775"> <tr> <td>総事業費</td> <td>200 百万円</td> <td>工期</td> <td>R3~R9</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>196 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">378 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>176 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">319 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">19 百万円</td> </tr> <tr> <td>過去工事費用</td> <td>20 百万円</td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">40 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.9</td> </tr> </table> <p>費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元要望に基づいており、町から受益者負担金の同意は得られている。</p>				総事業費	200 百万円	工期	R3~R9	基準年	R2	経済効率性	費用	196 百万円	便益	378 百万円		建設費	176 百万円	一般資産被害	319 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	19 百万円		過去工事費用	20 百万円	人的被害	40 百万円					その他※	百万円		B/C			1.9		
総事業費	200 百万円	工期	R3~R9	基準年	R2																																									
経済効率性	費用	196 百万円	便益	378 百万円																																										
	建設費	176 百万円	一般資産被害	319 百万円																																										
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	19 百万円																																										
	過去工事費用	20 百万円	人的被害	40 百万円																																										
			その他※	百万円																																										
B/C			1.9																																											
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 重力式擁壁工 L=250m 法面保護工 A=200m2 ②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和9年度 ④総事業費 約200百万円 (国費:95百万円(4.75/10)、県費:95百万円(4.75/10)、その他:10百万円(0.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="293 1248 1316 1503"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>25 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>重力式擁壁工・法面保護工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>重力式擁壁工・法面保護工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>重力式擁壁工・法面保護工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>重力式擁壁工・法面保護工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>重力式擁壁工・法面保護工</td> <td>35 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 工事概要：重力式擁壁工・落石防護柵工 L=60m 工事期間：S62~S63</p>				令和3年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	令和4年度	用地測量・調査、用地取得・補償	25 百万円	令和5年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円	令和6年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円	令和7年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円	令和8年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円	令和9年度	重力式擁壁工・法面保護工	35 百万円	<p>総合評価 [貢献度ランク：a]</p> <p>(4) 事業位置図等</p> 																					
令和3年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円																																												
令和4年度	用地測量・調査、用地取得・補償	25 百万円																																												
令和5年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円																																												
令和6年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円																																												
令和7年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円																																												
令和8年度	重力式擁壁工・法面保護工	30 百万円																																												
令和9年度	重力式擁壁工・法面保護工	35 百万円																																												

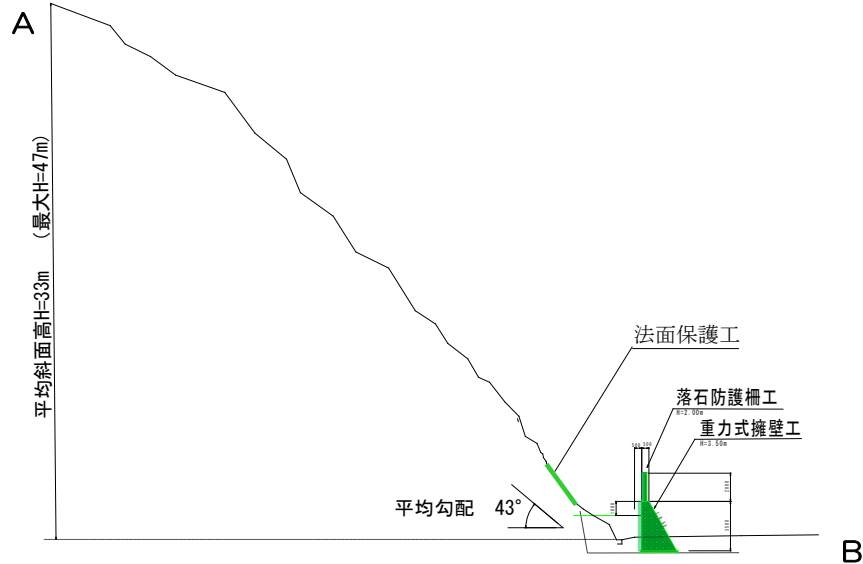
2. 添付資料シート

【平面図】



計画範囲	■
土砂災害警戒区域	■
土砂災害特別警戒区域	■
保全対象人家	■
道路	■
既設擁壁	■

【標準横断面図】



【写真】

